

令和８年度農業振興研究懇談会を開催しました

令和８年８月２７日に上田市内において長野県農業経営者協会上小支部及び長野県農業士協会上小支部主催により、「令和８年度農業振興研究懇談会」を開催しました。

本懇談会は、「地域計画から上小農業のこれからを考える」をテーマに、農業経営者協会及び農業士協会の会員や地域農業者、市町村及び農業委員会関係者、ＪＡ信州うえだ職員及び県関係者の計５３名が参加し、上小地域農業の将来像や課題について認識を共有しました。

当日は、県職員から地域計画を取り巻く国や県の動向、先進事例、基盤整備事業の進め方について情報提供が行われたほか、管内果樹生産者の永井秀樹氏による意見発表が行われました。その後のグループディスカッションでは、「上小地域農業の将来に向けた課題と必要な取組」をテーマに、農業者、市町村、農業委員会、ＪＡ、県職員がそれぞれの立場から活発な意見交換を行いました。

参加者からは、「他地域や他機関の考え方を知ることができた」、「新たな気付きや発見があった」といった声が聞かれました。本懇談会は、参加者が地域計画を進める必要性や、農業者と関係機関が連携することの重要性について認識を深める機会となり、上小地域農業の将来に向けて、多様な関係者がともに考え、意見を交わす有意義な場となりました。



管内果樹生産者による意見発表



参加者全員参加によるグループディスカッション